こども計画基本理念の検討

現行計画	まちぐるみで応援 子どもが笑顔で幸せになるまち しゅうなん
------	-------------------------------

こども育成支援対策審議会での意見

- 市が「こどもまんなか」を推進していくのであれば、このキーワードを基本理念に盛り込んだ方がよい
- こどもを中心に据えるのは言うまでもないが、家庭や地域も「育ち合う」、まち全体が成長するようなキーワード、「支え合う」でも良いかもしれない
- 「みんなが笑顔で幸せ」というのはいいキーワード
- 「こどもが主役」というと、こどもが笑顔になるように、みんなが苦しい顔をして神輿を担いでいるようなイメージになりがち。こどものためであれば我慢してもいい、というのはいささか違う。こどもを中心にしながら、みんなが笑顔で幸せということが一番大事
- こども計画なので「こども」という言葉を盛り込むことは必要。こどもが前面に出てしまうと、こどもがいない人とか、こどもと関わりがない人などが抵抗を感じる可能性もある。こどもと地域がともに育つといったニュアンスにした方がよいのではないか。「こどもが主役」というと表現として強すぎるかもしれない。

事務局での検討

- 「こどもまんなか」は、こども施策を展開する上での軸となる視点である。「こどもまんなか社会」の実現は、国が推進し、当然、周南市としても継続して推進していく。一方、自治体は、それを具体化し、具現化して実行する役割を担っている。こども計画の基本理念には、周南市の「こどもまんなか社会」像やその意味が、正しく伝わり、何よりこどもたちにとってわかりやすいものにしたい。
- 家庭も地域も育ち合い、まち全体が成長するというのは、まちづくりに欠かせない大事な視点である。こども計画でも施策の柱のひとつに、「地域づくり」を置いている。その項目名で示したい。
- こどもの笑顔はまちの笑顔になり、こどもが幸せなまちはみんなが幸せなまちである。
- 「こどもまんなか」は、すべてのこどもたちが、それぞれ持てる力を発揮し、健やかに成長することを願い、支える社会の仕組み。結果として、こどもたちの成長とともに地域力も高まる。「すべてのこども」を主語にして、取り組みを進めたい。
- 「夢」と「希望」は、今を生きるこどもの思いや願い、そして将来への期待である。子どもたちが「夢」と「希望」を膨らませ、それがまちの「未来」につながる。周南市の「こどもまんなか社会」は、そんな社会なのではないか。

基本理念
(案)

すべてのこどもが夢と希望をもって未来をつくる こどもまんなかしゅうなん